

特集

他団体と連携するクラブ

スポーツクラブ美馬 <徳島県美馬市>

総合型クラブが地域に定着し、浸透するためには、地域との一体感の醸成が重要となります。そのためには、地域社会からの信頼性を確保し、地域の各種機関・団体との相互補助の関係を築くことが必要となってきます。

そこで今回は、地域の各種団体と連携し、活動を行っている総合型クラブを紹介します。



1. 過疎化・少子化で子どもの数が減少→2保育所と5幼稚園が統合し美馬認定こども園が新設→園とクラブの運動面での要望がマッチ
2. 小学1年生で実施する体育授業を就学前に経験することで、入学後の環境の変化や体育授業の戸惑いを解消
3. 連携3事業を通じ「体を動かす」ことを意識した保育に取り組み、幼児期に体を動かす基礎と習慣化を醸成

① クラブ概要

当時の美馬町は徳島県を通して、文部科学省の「総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業」の地域指定を受け、3年間様々な活動や研究をしてきました。その間に、美馬町は、「美馬町生涯スポーツ推進協議会」を立ち上げ、地域住民がスポーツに親しみ、各自の健康・体力の維持増進のみならず、地域社会のコミュニティーづくりをすることを目標に、平成16年3月28日に「スポーツクラブ美馬」を設立しました。

2 運動に親しむ各種教室を展開 地元に根付いたイベントも

現在は、設立時の趣旨である運動に親しむための教室として、バレーボール、フットサル、野球、卓球、グラウンド・ゴルフ、太極拳、カローリング、ターゲットバードゴルフ、フラ、エアロビクス、やさしいヨガ、ダンス入門を展開しています。

小学生のクラブチームとしては、「SC美馬インパルス(サッカー)」と「SC美馬ベースボールクラブ」の2チームが活動しています。

また、地域住民から文化的な活動も取り入れてほしいとの要望を受け、茶道、生け花、影絵、コーラス、古典を楽しむ会、読み聞かせの教室を新設しました。

さらに、クラブの3大イベント(夏の納涼祭、秋の運動会、冬のクリスマス会)を実施し、地域住民から地元に根付いたイベントとして受け入れられています。



3 新設された「美馬認定こども園」と 運動面で交流・連携

美馬町内には、2保育所、5幼稚園、5小学校と1中学校がありましたが、過疎化、少子化等により子どもの数が減少し、平成28年度に2保育所と5幼稚園が統合し、美馬市立美馬認定こども園が新しく設立されました。それまでもクラブは読み聞かせや昔遊び等で交流を図っていました。

新設された美馬認定こども園と運動面でも交流できないだろうかと考えていたところ、一般財団法人徳島県スポーツ振興財団が自主事業として総合型地域スポーツクラブ等の活動を支援する「地域活性化推進事業」の募集があることを知りました。

この推進事業は、「健康な町づくりを目指すとともに子どもから高齢者までのライフステージに応じた運動・スポーツのきっかけづくりの場の提供を通してスポーツ実施率の向上とスポーツを通じた地域の活性化を図る」ことを目的にしており、クラブと美馬認定こども園との要望がマッチしたことで「子どもの発達支援 運動遊び教室」等を実施することにしました。

なお、実施に至るまで、クラブと美馬認定こども園と県スポーツ振興財団の3者で事業化の調整を行いました。

4 「子どもの発達支援 運動遊び教室」を実施

(1) 事業名「リズムであそぼう！」

(指導者＝クラブ内の指導者)

● 事業の目的

幼児期に伸び伸びと体を動かして遊ぶことは、心身の調和的な発達を促す上で重要な意味を持ちます。ここでは、音楽に合わせて体を動かし、楽しく遊びながら「リズム感・表現力」を養い、心と体を育てることを目的とします。

● 事業の内容

美馬認定こども園年少児及び年長児を対象に、ストレッチをした後、音楽に合わせてダンスをしました。

実施日	参加人数	会場
平成28年9月16日～平成28年12月16日まで 月1回 計4回	100名	美馬認定こども園
平成29年6月16日～平成30年1月19日まで 月1回 計8回	91名	美馬認定こども園
平成30年6月29日～平成31年1月18日まで 月1回 計6回	92名	美馬認定こども園



(2) 事業名「幼児の運動能力調査」

(測定員＝クラブスタッフ、幼児運動能力調査測定員)

● 事業の目的

子どもの体力や幼児の運動能力低下が危惧されていますが、特に小学校に入学する前の幼児期に、しっかり体を動かす基礎や土台をつくることは、その後の発育・発達にも重要と言われています。本調査では、今後の指導の参考となるよう、運動能力調査を実施し、全国調査との比較や、園や家庭での身体活動環境と運動能力との関連などについて分析・評価することを目的とします。

● 事業の内容

美馬認定こども園年少児及び年長児を対象に、「25m走」「立ち幅跳び」「ボール投げ」「両足連続飛び越し」「体支持持続時間」「捕球」の6種目を測定し、子どもの運動能力を調査しました。

実施日	参加人数	測定結果 全国平均以上の割合	会場
平成30年6月26日	92名	56%	美馬中学校体育館
令和元年6月24日	92名	64%	美馬中学校体育館

運動能力調査をきっかけに、園ではボール投げやマット運動等、様々な動きを取り入れたサーキットトレーニングを採用しました。また、クラブにおいては、年長児を対象に「小1体育デビュー教室」を行い、様々な運動遊びを取り入れることにより、2回目の実施時には測定結果が1回目から8%アップしました。



(3) 事業名「小1体育デビュー教室」

(指導者＝元小学校教員)

● 事業の目的

小学生になると体育の授業が始まり、多種多様で複雑な動きを習得していきます。最近の子どもは外遊び等が減少していると懸念されていますが、外遊びを含む遊びに慣れていない子どもは、就学前の動きの習得が未熟であったり、経験がなかったりして体育の授業に戸惑うことも考えられます。小学1年生で実施する体育授業の導入を経験することで、入学に伴う環境の変化や体育授業の戸惑いから運動嫌いになる子どもをつくらないようにし、地域の子どもへの発育・発達への支援を通じて、活力を創出することを目的とします。

● 事業の内容

小学校入学を控えた園児が、スムーズに小学校で学習できるように、小学1年生の学習指導要領に基づき、運動遊びを実施しました。

実施日	参加人数	会場
平成31年1月16日、23日、30日 計3回	43名	美馬中学校体育館
令和2年1月14日、21日、28日 計3回(予定)	51名(予定)	美馬中学校体育館



5 連携先の美馬認定こども園から効果大との評価

この「子どもの発達支援 運動遊び教室」を実施したことは、子どもたちの発育・発達にとって、とても良かったと思っています。美馬認定こども園からは、それぞれ次のような感想がありました。

● 「リズムであそぼう！」

ストレッチも組み合わせ、体をほぐしながらの全身運動で心身共に健康づくりができる内容であり、日々の保育にも取り入れるようになりました。

● 「幼児の運動能力調査」

運動能力調査の結果を数値化することで全体的な傾向を把握し、園児に運動遊びの楽しさを味わってもらいながら、日々の保育で体力を伸ばす運動遊びをする時間を多くしていきたいです。室内では「跳び箱、平均台、マット、バランスストーンや巧技台」を組み合わせたサーキット遊びができる環境を構成し、戸外では、縄跳び、ボールを使う機会を増やすなど「体を動かす」ことを意識した保育に取り組むようになりました。

● 「小1体育デビュー」

スムーズな小学校入学への一助となっています。また、運動の内容も個人、友達同士、次はチームでゲーム形式と段階的に集団が大きくなるように工夫されており、園児は活動時間いっぱい楽しんでいました。運動の楽しさを十分に味わえる内容でした。

これらのことから「子どもの発達支援 運動遊び教室」の効果は大きいものがあったと思います。幼児期に体を動かす基礎と習慣化の醸成ができました。

6 日程調整に苦心も、園・中学・地域ボランティアの協力で推進

徳島県は全国的にみて小中学生の運動能力が低く、この取り組みを通じ、その一助になればと思い、本事業を実施しました。

今回新たな取り組みになった本事業を推進するにあたっては、連携した美馬認定こども園、中学校、地域のボランティアの方々には積極的にご協力をいただき、本当にありがたかったです。ボランティアの中には、「小さい子どもと交流できてよかった」、「みんなのお役に立ててうれしい」、「また声をかけてほしい」という方もおり、地域活動への理解を深めていただきました。

美馬認定こども園も中学校も多くの行事がある中での実施となるため、日程調整には苦労もありましたが、多くの方のご協力でスムーズにできたと感謝しています。

7 指導者と会場の確保が今後の課題

現在クラブは16年目を迎え、行政や学校、地域住民の協力を得て順調に活動を続けています。設立当初から試行錯誤しながら、地域住民の要望に耳を傾け、少しずつではありますが教室数は増えています。しかしながら、指導者や会場の確保が難しく、要望があっても開講できない教室もあります。

課題を一つずつ乗り越え、今後も地域の人々の要望や実態に応えられるスポーツクラブであり続け、地域と共に前進をしていきたいです。

(スポーツクラブ美馬 会長 青木 博美)

クラブ プロフィール

設立年月日 平成16年3月28日

所在地 徳島県美馬市美馬町

運 営 会員数321人(令和元年12月現在)、予算規模350万円(令和元年度)

有給職員 0名

特 徴 クラブは「だれでも」「いつでも」「どこでも」「いつまでも」を活動理念に掲げ、地域住民が運動に親しみ、人々が交流し、地域が活性化することを目標に活動に取り組んでいます。年会費3,000円(小中学生及び70歳以上の会員は2,000円)を納めると、ほとんどの教室は参加費なしで参加をすることができます。しかし、エアロビクスのように外部講師を依頼している教室は、別途集金をしています。最近では、運動の教室だけでなく、コーラスや生け花教室のような文化的な教室も開いています。夏の納涼祭、秋の運動会、冬のクリスマス会はクラブの3大イベントとして地域に定着しています。

連絡先 〒771-2106 徳島県美馬市美馬町字大泉51番地1
TEL 0883-63-3422 FAX 0883-63-3422
E-mail info@mimaspo.sakura.ne.jp

